



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社 三越伊勢丹ホールディングス

上場取引所 東 福

コード番号 3099 URL <http://www.imhds.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大西 洋

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務部コーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 滝口 一雄

TEL 03-5843-5115

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	919,674	△1.4	24,121	△2.8	26,183	△24.0	17,557	△68.7
24年3月期第3四半期	932,627	△0.4	24,810	81.5	34,442	39.5	56,041	343.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 20,230百万円 (△58.0%) 24年3月期第3四半期 48,223百万円 (637.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	44.50	44.40
24年3月期第3四半期	142.06	141.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,228,714	484,558	38.4
24年3月期	1,227,947	468,479	37.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 472,075百万円 24年3月期 456,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,234,000	△0.5	25,000	4.9	30,000	△22.0	21,000	△64.3	53.23

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
（注）詳細は、添付資料P5「2.サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	394,761,494 株	24年3月期	394,751,494 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	257,750 株	24年3月期	250,439 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	394,502,656 株	24年3月期3Q	394,495,348 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、震災復興に伴う公共投資の本格化などを背景に緩やかながら景気回復の動きが見られました。しかし足元では回復が見られる株価も11月まで低迷し、さらに消費税増税・電気料金値上げに対する懸念や海外の欧州債務問題や中国の景気減速など、国内外で先行き不透明な状況が続きました。

百貨店業界におきましては、昨年の震災影響の反動から平成24年4月の全国百貨店売上高は前年実績を上回りましたが、その後の売上高は、東京地区がほぼ前年並みと堅調に推移するものの、地方百貨店が伸び悩み、全体では前年実績を下回る推移となりました。

このような状況の下、当社グループは「常に上質であたらしいライフスタイルを創造し、お客さまの生活の中のさまざまなシーンでお役に立つことを通じて、お客さま一人ひとりにとっての生涯にわたるマイデパートメントストアとなり、高収益で成長し続ける世界随一の小売サービス業グループ」の実現に向けた取組みを推進いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は919,674百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益は24,121百万円（前年同四半期比2.8%減）、経常利益は26,183百万円（前年同四半期比24.0%減）、四半期純利益は17,557百万円（前年同四半期比68.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①百貨店業

中核の百貨店業におきましては、当グループにおける最重要戦略である伊勢丹新宿本店・三越日本橋本店・三越銀座店の基幹3店舗の磨き上げについて、本年は伊勢丹新宿本店の再開発に着手しており、平成25年3月のグランドオープンに向け、平成24年6月の婦人肌着売場「マ・ランジェリー」のオープンを皮切りに、各フロア・各ショップが順次モデルオープンいたしております。

首都圏以外の国内グループ百貨店におきましては、全体の売上は前年実績を下回りましたが、仙台三越、広島三越、高松三越などは前年実績を上回りました。

顧客接点の拡大と充実に向けた新規小型店舗の展開におきましては、平成24年4月に紳士雑貨とフーズギフトを中心とした「イセタン 羽田 ストア」を羽田空港国内線第1旅客ターミナル内にオープンいたしました。また、平成24年7月に「伊勢丹アウトレットストア」を佐野プレミアムアウトレットにオープンいたしました。ラグジュアリーコスメ編集ショップ「イセタンミラー」については、平成24年9月に2号店をルミネ大宮にオープンし、さらに平成25年1月26日にセレオ八王子に3号店をオープンいたしました。

重要な成長事業の一つであるWEB事業におきましては、WEBメディアの内製化を目的として、ニュースサイトの運営を主要事業としている株式会社イード（以下、イード）へ出資を行うと同時に、同社との間で合弁会社「株式会社ファッションヘッドライン」を平成24年12月3日付で設立し、ファッション総合ニュースサイト「FASHION HEADLINE」を立ち上げました。同社においては、株式会社三越伊勢丹の「豊富な商品知識と店舗の運営、お客さま対応」のノウハウと、イードの「効率的な情報発信を可能にする配信プラットフォーム運営」技術を組合せ、百貨店によるインターネットでの新しい情報発信のかたちを創出してまいります。

また、伊勢丹新宿本店の再開発にあわせ、同店にかかわるヒト・モノ・コトに関する情報を、インタ

ーネット上の様々なソーシャルメディアを活用してお客さまにお届けする新しいWEBサイト「I S E T A N P A R K n e t」をプレオープンいたしました。同サイトでは今後、店頭とWEB、ソーシャルメディアとオンラインショッピングを連動させたコミュニケーションやサービスへの取組みを強化し、お客さまに新しい体験を提供してまいります。

なお、専門館事業で運営しておりました新宿三越アルコット店は、同ビルを外部に一括賃貸することに伴い、平成24年3月31日をもちまして営業を終了しております。

海外におきましては、グループ収益基盤の強化に向け、経済成長率の伸びにやや鈍化の傾向が見られるものの、引き続き堅調な成長が見込まれる中国・東南アジア地域での市場の開拓と深耕に取組み、平成24年5月にマレーシアで4号店となるワンウータマ店を新規オープンいたしました。また、中国・天津2号店については、平成24年12月のソフトオープンを経て、平成25年1月18日にグランドオープンいたしました。

これらの結果、百貨店業全体での売上高は834,738百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益は16,975百万円（前年同四半期比6.6%減）となりました。

②クレジット・金融・友の会業

クレジット・金融・友の会業におきましては、株式会社エムアイカードが会員数の拡大とともに収益力の高い経営基盤の構築に取組みました。同社は、エムアイカードの契約や生計が別でも、家族内で最も高い優待率が全員に適用され、年間お買上げ額も合算される新サービス「つながります」をスタートさせるなど、お客さまの利便性向上を図りました。

この結果、売上高は23,492百万円（前年同四半期比8.8%増）、営業利益は3,534百万円（前年同四半期比27.1%増）となりました。

③小売・専門店業

小売・専門店業におきましては、食品製造・スーパーマーケット業の株式会社三越伊勢丹フードサービスが、安心安全な商品や自社製造機能を活用した独自性の高い商品の提供により、地域のお客さまの満足度向上に向けて取組みました。また、同社として初の新規出店となる「クイーンズ伊勢丹ふじみ野店」を、平成24年6月に埼玉県ふじみ野市の「ショッピングセンター ソヨカ ふじみ野」内にオープンいたしました。開店に伴う一時的な費用の発生により減益となっております。

通信販売業の株式会社三越伊勢丹通信販売は、WEB・カタログ・TV通販、さらに会員制食品宅配サービス「三越伊勢丹エムアイデリ」の展開など、利便性の高いサービスの提供に取組みました。

この結果、売上高は65,505百万円（前年同四半期比1.1%減）、営業損失は446百万円（前年同四半期は営業利益497百万円）となりました。

④不動産業

不動産業におきましては、株式会社三越伊勢丹ビルマネジメントが、営業支援および省エネ・防災関連業務に取組みました。

この結果、売上高は22,586百万円（前年同四半期比35.5%増）、営業利益は2,008百万円（前年同四半期比175.4%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、情報処理サービス業の株式会社三越伊勢丹システム・ソリューションズ、物流業の株式会社三越伊勢丹ビジネス・サポート、人材サービス業の株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ等が、営業支援および生産性向上に向けた業務に取り組みましたが、売上高は55,332百万円（前年同四半期比4.2%減）、営業利益は1,910百万円（前年同四半期比24.4%減）となりました。

なお、平成24年10月1日付で卸売業のレオドル商事株式会社は、株式会社三越伊勢丹ギフト・ソリューションズへ商号を変更しております。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,228,714百万円となり、前連結会計年度末に比べ767百万円増加いたしました。これは主に、季節要因により受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加した一方で、持分法投資損失の計上により投資有価証券が減少したことなどによるものです。

負債合計では744,155百万円となり、前連結会計年度末から15,312百万円減少しました。これは主に、季節要因により支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払金等の流動負債のその他が減少したことなどによるものです。

また、純資産は484,558百万円と前連結会計年度末から16,079百万円増加しました。これは主に利益剰余金が増加したことなどによるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期業績予想につきましては、概ね計画通り推移しており、現時点におきましては平成24年11月9日公表の通期業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,137	37,345
受取手形及び売掛金	105,895	119,230
有価証券	268	237
商品及び製品	54,856	61,680
仕掛品	118	154
原材料及び貯蔵品	1,079	1,092
その他	62,323	50,843
貸倒引当金	△3,470	△3,429
流動資産合計	260,208	267,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	175,969	174,402
土地	536,702	535,499
その他（純額）	21,011	22,558
有形固定資産合計	733,684	732,460
無形固定資産		
ソフトウェア	13,332	13,151
その他	35,488	35,326
無形固定資産合計	48,821	48,478
投資その他の資産		
投資有価証券	84,894	82,563
その他	100,965	98,330
貸倒引当金	△693	△316
投資その他の資産合計	185,167	180,576
固定資産合計	967,673	961,515
繰延資産		
社債発行費	65	43
繰延資産合計	65	43
資産合計	1,227,947	1,228,714

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	111,791	143,124
1年内償還予定の社債	—	12,000
短期借入金	22,964	37,204
コマーシャル・ペーパー	24,000	50,000
未払法人税等	3,893	4,711
商品券回収損引当金	22,886	21,854
引当金	13,674	9,409
その他	203,880	163,233
流動負債合計	403,089	441,538
固定負債		
社債	24,000	12,000
長期借入金	102,300	67,800
繰延税金負債	158,769	158,684
退職給付引当金	39,602	39,631
引当金	33	26
持分法適用に伴う負債	—	3,866
負ののれん	13,234	3,308
その他	18,438	17,299
固定負債合計	356,378	302,616
負債合計	759,467	744,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,102	50,106
資本剰余金	325,061	325,065
利益剰余金	103,823	117,435
自己株式	△233	△239
株主資本合計	478,754	492,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,604	△5,558
繰延ヘッジ損益	1	11
為替換算調整勘定	△16,567	△14,746
その他の包括利益累計額合計	△22,170	△20,293
新株予約権	1,246	1,194
少数株主持分	10,648	11,287
純資産合計	468,479	484,558
負債純資産合計	1,227,947	1,228,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	932,627	919,674
売上原価	671,358	660,536
売上総利益	261,268	259,138
販売費及び一般管理費	236,458	235,016
営業利益	24,810	24,121
営業外収益		
受取利息	674	653
受取配当金	567	582
負ののれん償却額	9,925	9,925
持分法による投資利益	1,236	—
その他	2,109	2,013
営業外収益合計	14,514	13,176
営業外費用		
支払利息	1,323	1,139
固定資産除却損	708	376
持分法による投資損失	—	7,051
その他	2,850	2,546
営業外費用合計	4,882	11,114
経常利益	34,442	26,183
特別損失		
固定資産売却損	314	935
固定資産処分損	—	2,253
のれん償却額	1,099	—
投資有価証券評価損	2,062	47
事業構造改善費用	3,462	—
合併関連費用	379	—
その他	—	234
特別損失合計	7,317	3,471
税金等調整前四半期純利益	27,124	22,711
法人税等	△29,511	4,811
少数株主損益調整前四半期純利益	56,636	17,900
少数株主利益	595	343
四半期純利益	56,041	17,557

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,636	17,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158	102
繰延ヘッジ損益	△27	11
為替換算調整勘定	△1,520	897
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,706	1,319
その他の包括利益合計	△8,413	2,330
四半期包括利益	48,223	20,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,280	19,434
少数株主に係る四半期包括利益	△57	796

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	百貨店業	クレジット・金融・友の会業	小売・専門店業	不動産業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	849,030	9,782	54,343	8,135	921,292	11,334	932,627	—	932,627
セグメント間の内部売上高又は振替高	517	11,801	11,887	8,538	32,744	46,420	79,165	△79,165	—
計	849,547	21,583	66,231	16,674	954,037	57,755	1,011,792	△79,165	932,627
セグメント利益	18,166	2,781	497	729	22,174	2,526	24,701	108	24,810

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額108百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	百貨店業	クレジット・金融・友の会業	小売・専門店業	不動産業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	833,572	10,796	54,050	10,339	908,758	10,916	919,674	—	919,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,165	12,696	11,454	12,247	37,564	44,416	81,980	△81,980	—
計	834,738	23,492	65,505	22,586	946,322	55,332	1,001,655	△81,980	919,674
セグメント利益又は損失(△)	16,975	3,534	△446	2,008	22,071	1,910	23,981	139	24,121

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額139百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 連結業績の概要

(単位:百万円、%)

項目	当第3四半期累計期間 (平成24年4月～12月)	前第3四半期累計期間 (平成23年4月～12月)	前年差	前年比
売上高	919,674	932,627	△12,952	98.6
売上総利益	259,138	261,268	△2,129	99.2
販売費及び一般管理費	235,016	236,458	△1,441	99.4
営業利益	24,121	24,810	△688	97.2
経常利益	26,183	34,442	△8,259	76.0
四半期純利益	17,557	56,041	△38,484	31.3

(2) 三越伊勢丹個別の業績の概要

① 業績の概要

(単位:百万円、%)

項目	当第3四半期累計期間 (平成24年4月～12月)	前第3四半期累計期間 (平成23年4月～12月)	前年差	前年比
売上高	470,368	480,812	△10,444	97.8
売上総利益	127,517	129,317	△1,800	98.6
営業利益	15,450	15,726	△276	98.2
経常利益	15,703	15,325	377	102.5
四半期純利益	11,579	32,083	△20,504	36.1

② 店別売上高

(単位:百万円、%)

店舗名	当第3四半期累計期間 (平成24年4月～12月)	前第3四半期累計期間 (平成23年4月～12月)	前年差	前年比
伊勢丹新宿本店	174,180	174,873	△692	99.6
三越日本橋本店	125,807	128,057	△2,250	98.2
三越銀座店	45,774	42,743	3,030	107.1
伊勢丹立川店	28,851	27,996	855	103.1
伊勢丹松戸店	16,059	16,581	△522	96.9
伊勢丹浦和店	32,008	32,691	△682	97.9
伊勢丹相模原店	19,090	19,809	△718	96.4
伊勢丹府中店	15,289	15,544	△254	98.4
三越千葉店	13,306	14,116	△809	94.3
新宿三越アルコット店	—	8,400	△8,400	—
計	470,368	480,812	△10,444	97.8

(3) 国内グループ百貨店の売上高の状況

(単位:百万円、%)

会社名	当第3四半期累計期間 (平成24年4月～12月)	前第3四半期累計期間 (平成23年4月～12月)	前年差	前年比
札幌丸井三越	48,980	50,040	△1,060	97.9
函館丸井今井	7,250	7,502	△251	96.6
仙台三越	26,250	25,129	1,120	104.5
名古屋三越	50,339	52,347	△2,007	96.2
静岡伊勢丹	15,106	15,550	△444	97.1
新潟三越伊勢丹	35,604	35,943	△339	99.1
広島三越	12,355	11,735	619	105.3
高松三越	16,202	16,194	7	100.0
松山三越	12,142	12,230	△87	99.3
岩田屋三越	85,271	86,361	△1,090	98.7